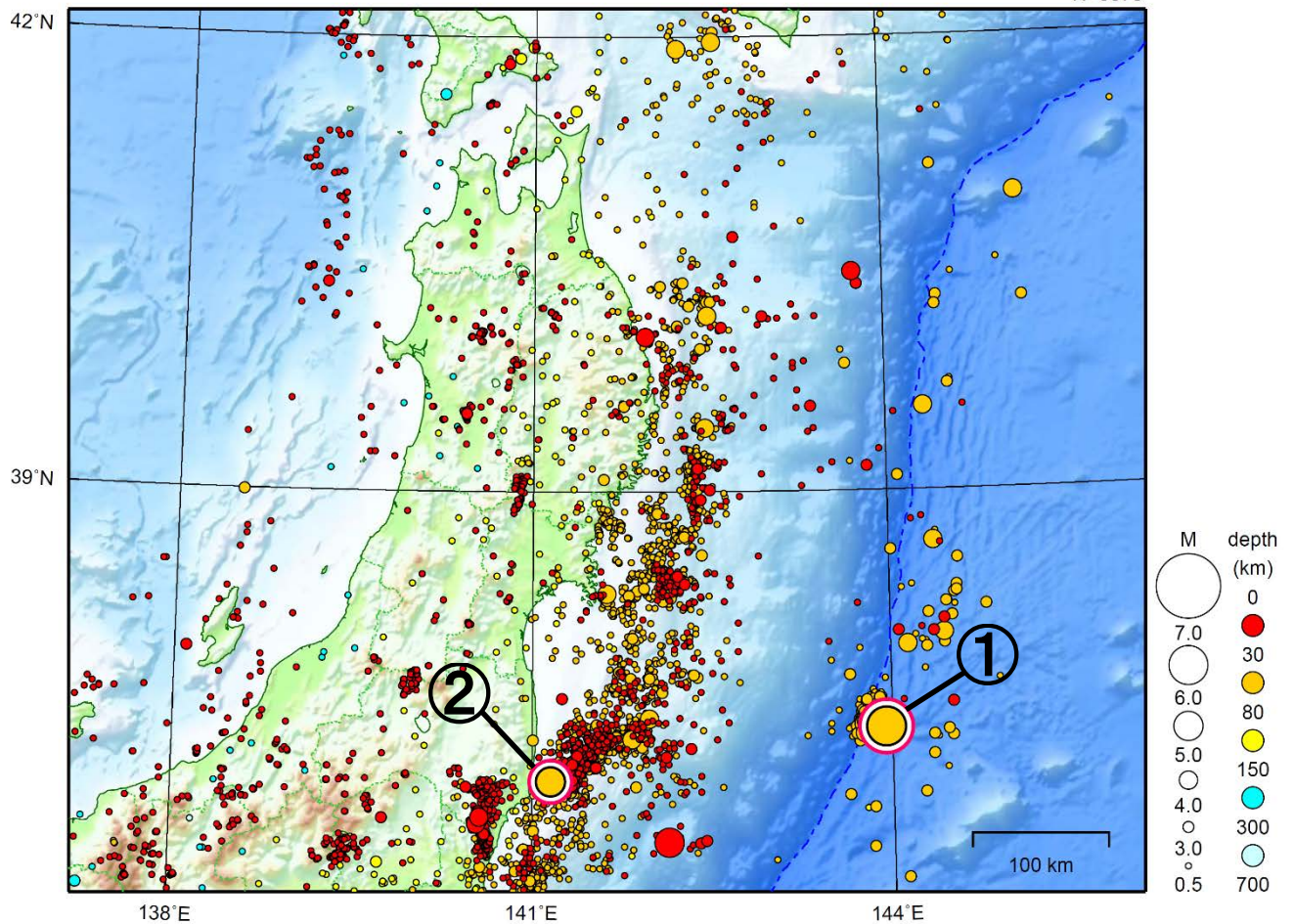


東北地方

2017/10/01 00:00 ~ 2017/10/31 24:00

N=5075



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

- ① 10月6日に福島県沖でM6.3の地震（最大震度2）が発生した。
- ② 10月6日に福島県沖でM5.9の地震（最大震度5弱）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

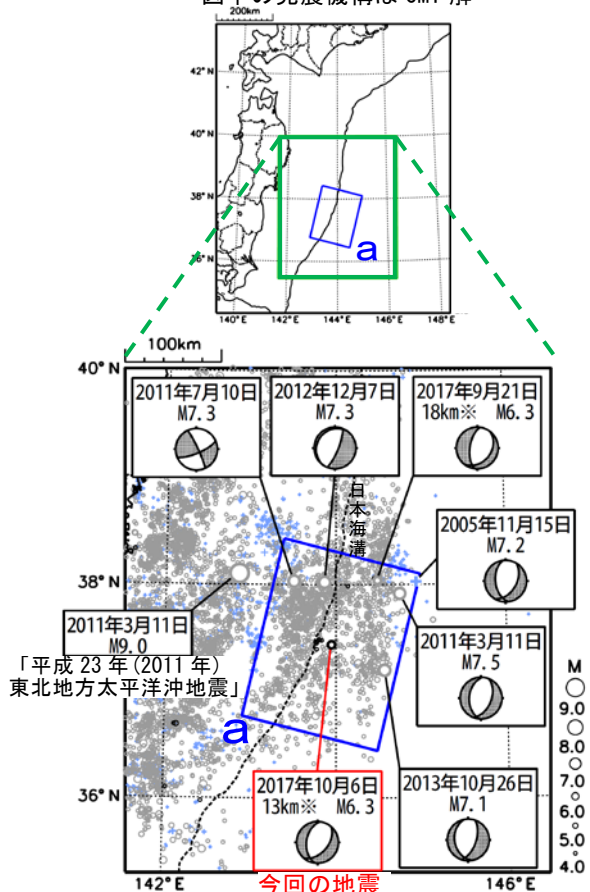
10月6日16時59分 福島県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2017年10月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を+、
2011年3月11日以降に発生した地震を薄い○、
2017年10月に発生した地震を濃い○で表示

図中の発震機構はCMT解

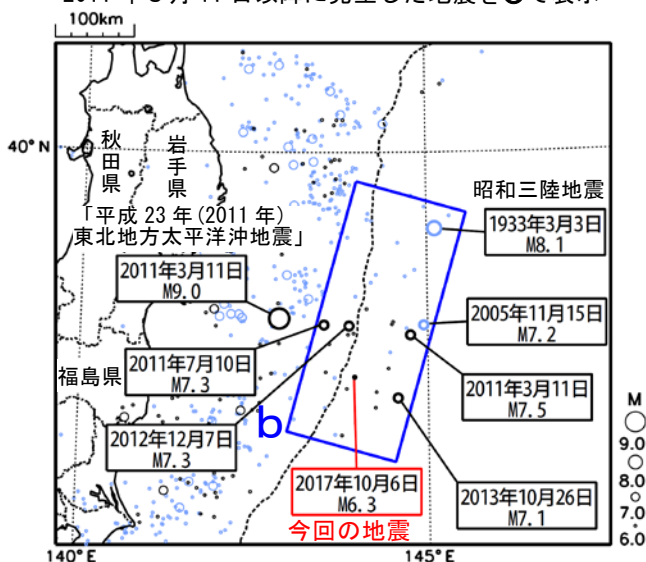


※2017年9月21日の地震及び今回の地震の深さはCMT解による

震央分布図

(1923年1月1日～2017年10月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を○、
2011年3月11日以降に発生した地震を○で表示

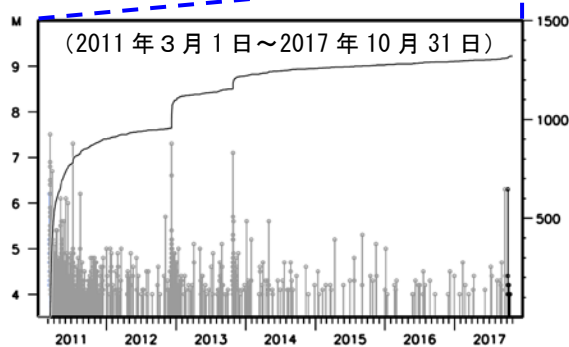
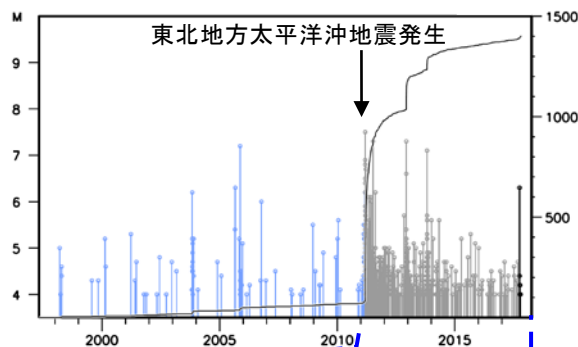


2017年10月6日16時59分に福島県沖の深さ13km (CMT解による) でM6.3の地震 (最大震度2) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、日本海溝付近の太平洋プレート内部で発生した。

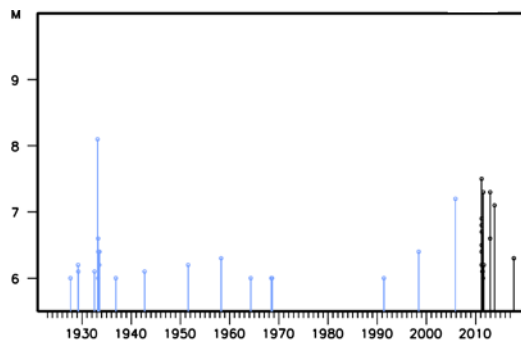
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域a) では、M5.0以上の地震が時々発生しており、2005年11月15日にはM7.2 (最大震度3) が発生している。「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、東北地方太平洋沖地震) の発生以降は、M7.0以上の地震が4回発生するなど地震活動が活発化している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、M6.0を超える地震がしばしば発生しており、1933年3月3日に発生した「昭和三陸地震」 (M8.1) では、岩手県三陸町綾里湾で28.7m (平均海水面からの高さ) の津波が観測され、北海道から宮城県にかけての沿岸で死者・行方不明者3,064人の大きな被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

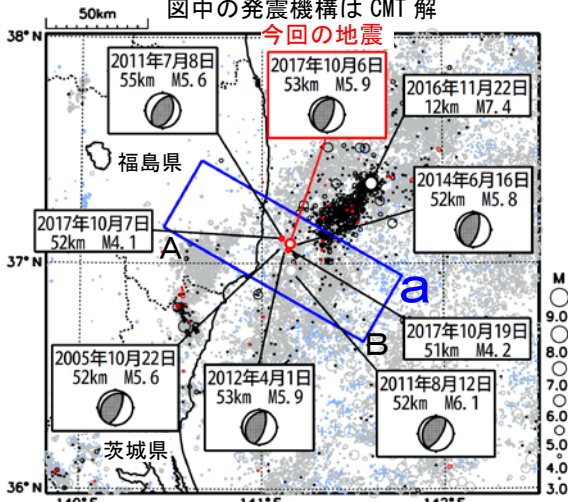


10月6日23時56分 福島県沖の地震

震央分布図

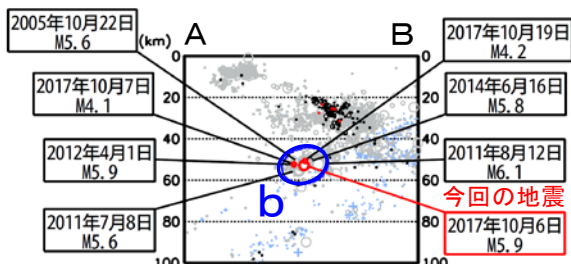
(1997年10月1日～2017年10月31日、
深さ0～100km、M \geq 3.0)

2011年3月10日以前に発生した地震を+、2011年3月11日～2016年11月21日に発生した地震を薄い○、2016年11月22日以降に発生した地震を濃い○、2017年10月に発生した地震を○で表示
図中の発震機構はCMT解



※2016年11月22日の地震 (M7.4) の深さはCMT解による。また、2016年11月22日～2017年1月31日の期間は未処理のデータがある。

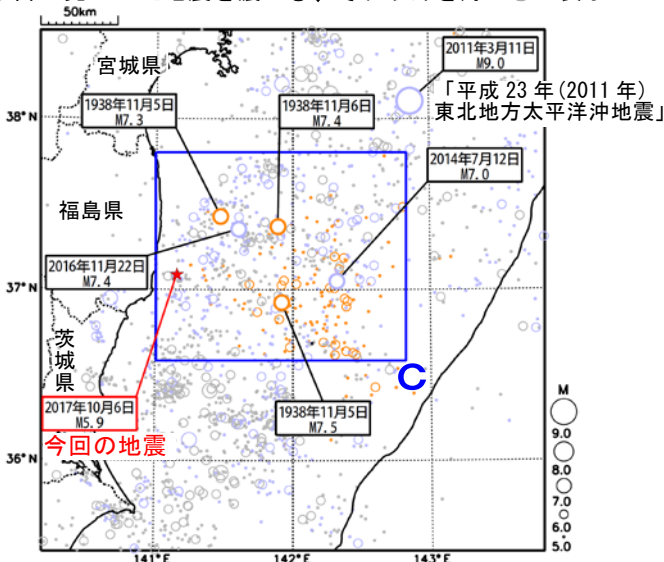
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2017年10月31日、
深さ0～150km、M \geq 5.0)

1938年11月1日～12月31日に発生した地震を○、2011年3月11日以降に発生した地震を○、2017年10月以降に発生した地震を濃い○、それ以外を薄い○で表示

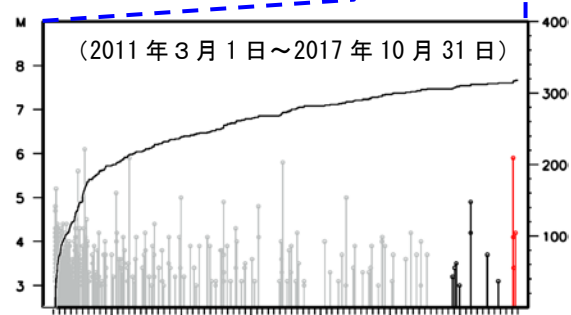
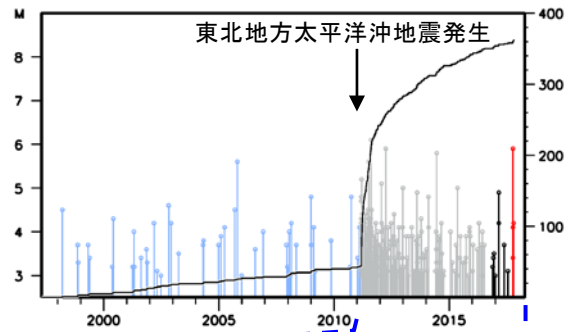


2017年10月6日23時56分に福島県沖の深さ53kmでM5.9の地震 (最大震度5弱) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震により軽傷1人の被害が生じた (総務省消防庁による)。この地震とほぼ同じ場所で、7日00時00分にM4.1 (最大震度3)、19日21時50分にM4.2 (最大震度3) の地震が発生している。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、東北地方太平洋沖地震の発生以降、M5.0以上の地震が9回発生するなど地震活動が活発化している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1938年11月5日17時43分にM7.5の地震が発生した。この地震により、宮城県花淵 (七ヶ浜町) で113cm (全振幅) の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年11月30日までにM6.0以上の地震が25回発生していた。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図及び回数積算図

